

馬鈴薯ばれいしょの  
(石川啄木いしかわたくぼく)

解説 代用教員時代の同僚の中に、橘智恵子たちばなちえこと言う女性がい  
た。智恵子は馬鈴薯ばれいしょの花が好きだった。根に充実した力を持ち  
地に咲き出る純白のこの花は、私にふさわしい。と話していた。

馬鈴薯ばれいしょの  
花咲く  
頃ころと  
なれり  
けり

語釈 ※馬鈴薯Ⅱジャガイモのこと。※たまうⅡ動詞(多く「聞  
く」「見る」「思ふ」など)の連用形に付いて、補助動詞として  
用いられる。※らむⅡはつきりしないことについて推量する意  
を表す。…であるだろう。

君きみも  
この  
花はなを  
好すき  
たまふ  
らむ

通釈 馬鈴薯の花が咲く頃になった。君は此の花が好きだった  
ね。